2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名　　株式会社銀座ルノアール　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9853　　URL　https://www.ginza-renoir.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　（氏名）　岡崎　裕成
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理本部長兼財務部長　（氏名）　森田　正一　（TEL）03-5342-0881
半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,225	2.4	152	31.7	180	25.7	164	29.5
2026年３月期中間期	4,127	7.2	116	514.9	143	222.6	126	382.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　163百万円（　26.6%）　2026年３月期中間期　128百万円（　348.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	26.86	―
2026年３月期中間期	20.74	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	5,547	3,373	60.0
2026年３月期	5,690	3,245	56.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　3,330百万円　2026年３月期　3,199百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	5.00	5.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,609	3.1	399	104.2	461	84.1	416	160.3	68.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　、除外　ー社（社名）　ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料９ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	6,252,004株	2026年３月期	6,252,004株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	143,526株	2026年３月期	143,526株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	6,108,478株	2026年３月期中間期	6,108,478株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来についての記述等に関する注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「1.経営成績等の概況(1)当中間期の経営成績の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（中間連結損益計算書） …… 6
（中間連結包括利益計算書） …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げの継続による雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調を維持しております。一方で、地政学リスクや海外情勢の不確実性に加え、原材料価格やエネルギーコストの高止まりが続いております。また、人手不足に伴う人件費の増加や、物価上昇を背景とした消費者の節約志向に加え、新規出店に係る賃料や建築費用の上昇も見られ、外食産業を取り巻く経営環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、持続的な成長と企業価値の向上を実現するため、お客様のニーズに応じた商品・サービスの提供や来店機会の創出に注力してまいりました。

喫茶室ルノアールでは、「モーニングA無料キャンペーン」の実施により、午前中の利用促進を図り、ミヤマ珈琲とカフェ・ルノアールでは、グランドメニューの一部リニューアルにより、商品力の強化とお客様満足度の向上に取り組みました。また、公式アプリの７万ダウンロード達成を記念した割引クーポンの配信を通じて、お客様との継続的な接点強化を図りました。ベーカリー事業においては、BAKERY HINATAにて、8月に夏休み子どもパン教室を開催し、パンづくりを通じて、子ども達にものづくりの楽しさを体験していただくとともに、地域との交流促進およびブランド認知度の向上に取り組みました。

今後も、お客様に選ばれ続ける価値を提供できるよう、より高品質な商品と心のこもったホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

店舗数につきましては、2026年４月カフェ・ミヤマ渋谷東口駅前店を業態変更し、カフェ・ルノアール渋谷東口駅前店としてオープンし、2026年５月カフェ・ルノアール吉祥寺北口店を業態変更し、吉祥寺北口店としてオープンいたしましたので、103店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,225百万円(前年同期比97百万円増)となり、営業利益は152百万円(前年同期比36百万円増)、経常利益は180百万円(前年同期比36百万円増)、親会社株主に帰属する中間純利益は164百万円(前年同期比37百万円増)となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、5,547百万円となり前連結会計年度末に比べ142百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が31百万円、現金及び預金が91百万円減少したことによるものであります。

負債は、2,174百万円となり前連結会計年度末に比べ270百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が140百万円、長期借入金が35百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は3,373百万円となり前連結会計年度末に比べ128百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が133百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は60.0%(前連結会計年度末は56.2%)となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,769百万円となり前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは161百万円の収入(前年同期比55百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が179百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは41百万円の支出(前年同期比77百万円減)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出が25百万円、有形固定資産の取得による支出が22百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは210百万円の支出(前年同期比29百万円増)となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が140百万円、長期借入金の返済による支出が35百万円あったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において、2026年５月14日に公表致しました業績予想の変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,861,011	1,769,985
売掛金	266,849	239,688
商品	36,861	42,818
その他	202,117	191,086
流動資産合計	2,366,840	2,243,578
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,227,101	3,237,547
減価償却累計額	△2,396,871	△2,441,919
建物（純額）	830,230	795,627
工具、器具及び備品	333,610	336,174
減価償却累計額	△304,092	△304,188
工具、器具及び備品（純額）	29,517	31,986
土地	516,039	516,039
建設仮勘定	－	825
その他	6,499	6,499
減価償却累計額	△4,021	△4,517
その他（純額）	2,477	1,982
有形固定資産合計	1,378,265	1,346,460
無形固定資産		
ソフトウエア	2,978	1,882
その他	994	936
無形固定資産合計	3,972	2,818
投資その他の資産		
投資有価証券	87,112	84,499
長期貸付金	28,745	26,896
敷金及び保証金	1,455,370	1,477,612
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	182,461	182,455
その他	87,713	83,504
投資その他の資産合計	1,941,403	1,954,968
固定資産合計	3,323,642	3,304,247
資産合計	5,690,482	5,547,826

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	131,130	129,825
短期借入金	1,210,800	1,070,800
未払法人税等	24,351	13,903
賞与引当金	63,060	47,370
株主優待引当金	23,022	7,185
その他	328,702	278,599
流動負債合計	1,781,066	1,547,684
固定負債		
長期借入金	323,000	287,600
役員退職慰労引当金	151,817	146,918
退職給付に係る負債	171,967	174,861
その他	17,013	17,013
固定負債合計	663,798	626,393
負債合計	2,444,864	2,174,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,735,459	1,735,459
利益剰余金	1,489,991	1,623,549
自己株式	△111,095	△111,095
株主資本合計	3,214,355	3,347,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,499	△17,118
その他の包括利益累計額合計	△14,499	△17,118
非支配株主持分	45,762	42,953
純資産合計	3,245,617	3,373,748
負債純資産合計	5,690,482	5,547,826

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,127,816	4,225,622
売上原価	767,227	816,114
売上総利益	3,360,589	3,409,507
販売費及び一般管理費	3,244,477	3,256,546
営業利益	116,111	152,961
営業外収益		
受取利息	993	1,211
受取配当金	7	7
受取家賃	19,859	20,524
受取保険料	508	9,803
協賛金収入	17,037	8,786
その他	6,693	3,639
営業外収益合計	45,099	43,972
営業外費用		
支払利息	12,360	12,205
不動産賃貸費用	2,783	2,691
撤去費用	878	108
その他	1,418	1,168
営業外費用合計	17,440	16,174
経常利益	143,770	180,759
特別利益		
固定資産売却益	402	－
特別利益合計	402	－
特別損失		
固定資産廃棄損	1,738	1,030
特別損失合計	1,738	1,030
税金等調整前中間純利益	142,435	179,728
法人税等	14,069	14,056
中間純利益	128,365	165,671
非支配株主に帰属する中間純利益	1,672	1,570
親会社株主に帰属する中間純利益	126,693	164,100

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	128,365	165,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	422	△2,618
その他の包括利益合計	422	△2,618
中間包括利益	128,788	163,052
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	127,116	161,481
非支配株主に係る中間包括利益	1,672	1,570

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	142,435	179,728
減価償却費	93,032	56,827
長期前払費用償却額	12,580	12,740
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	9,147	△4,898
賞与引当金の増減額（△は減少）	△440	△15,690
株主優待引当金の増減額（△は減少）	△15,058	△15,836
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△787	2,893
受取利息及び受取配当金	△1,001	△1,218
支払利息	12,360	12,205
固定資産売却損益（△は益）	△402	－
固定資産廃棄損	1,738	1,030
売上債権の増減額（△は増加）	12,989	27,160
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,404	△5,957
仕入債務の増減額（△は減少）	△8,904	△1,304
未払消費税等の増減額（△は減少）	△16,043	△38,575
その他の流動資産の増減額（△は増加）	2,729	△1,151
その他の流動負債の増減額（△は減少）	10,636	△12,669
その他	1,933	1,383
小計	252,539	196,669
利息及び配当金の受取額	746	997
利息の支払額	△11,845	△12,375
法人税等の支払額	△25,403	△24,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,036	161,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	2,075	2,075
有形固定資産の取得による支出	△115,743	△22,803
有形固定資産の売却による収入	402	－
敷金及び保証金の差入による支出	－	△25,132
敷金及び保証金の回収による収入	1,269	12,127
その他	△6,874	△8,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,870	△41,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△90,000	△140,000
リース債務の返済による支出	△31,825	－
配当金の支払額	△18,321	△30,465
長期借入金の返済による支出	△35,400	△35,400
非支配株主への配当金の支払額	△4,978	△4,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,525	△210,245
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△83,360	△91,026
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,116	1,861,011
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,878,756	1,769,985

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）及び当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。